

アジアにおける米軍基地と集団的自衛権に反対する反基地国際シンポジウム（仮称） 開催の呼びかけ

私たちは、11月29日（土）30日（日）の二日間、岩国市で、「アジアにおける米軍基地と集団的自衛権に反対する反基地国際シンポジウム」（仮称）をともに開催することを呼びかけます。

私たちは、毎年、岩国市で国際連帯集会を開催してきました。それは、極東最大の海兵隊基地へと変貌させられる岩国基地を、アジア太平洋地域全体の問題として捉え、アジア太平洋地域の共同の課題として反対することが必要だと考えてきたからです。

日米両政府が進める岩国基地強化は、厚木からの空母艦載機59機の岩国移駐、F35配備、愛宕山米軍住宅建設（愛宕山に270戸程度、基地内に790戸程度）、これらが2017年10月完成を目処に進められています。5月には、岩国住民に、まともな説明さえ行わずに、米軍住宅建設にむけた工事が開始されました。加えて、普天間基地に配備されていたKC130空中給油機部隊の岩国への移駐も始まりました。すでに、岩国基地はオスプレイの低空飛行訓練拠点として機能させられています。岩国は、巨大な米軍基地と米兵の街にさせられるのです。

一方、岩国市民は、2006年の住民投票で空母艦載機移駐に反対する意思を明確にしました。しかし、日米両政府は、岩国基地大強化を強行しようとしています。

こうしたなかで、私たちは、岩国基地に反対するアジア太平洋地域の共同の取り組みを、ますます大きな流れとしていく必要を痛感しています。本年、沖縄でも辺野古新基地建設にむけたボーリング調査が開始され、京丹後では、米軍Xバンドレーダー基地建設も進められています。岩国基地は、こうした沖縄や「本土」各地で進む基地強化・新設の重要な拠点的位置を占めるかたちで進められています。そして、このような米軍基地強化・新設は、自衛隊の強化と特定秘密保護法や集団的自衛権行使と結びついています。集団的自衛権が行使されるようになれば、日米両軍が、朝鮮有事に対応して軍事行動に踏み出します。日米両軍の基地である岩国は、その最前線の出撃基地となることは明らかです。

そこで、私たちは、今秋、アジア太平洋地域、沖縄、岩国、京丹後、神奈川など、米軍基地に苦しめられる各地を結ぶ反基地国際シンポジウムの開催をともに作り上げていくことを呼びかけます。アジア太平洋地域、沖縄、岩国、京丹後、神奈川などを結び「基地はいらない」という共同の声とたたかいを強めていく新たなスタートとしたいと思っています。アジアにおける米軍基地強化と安倍政権による集団的自衛権行使にむけた動きに反対する、こうした趣旨で、反基地国際シンポジウムをともにともに開催することを呼びかけます。ぜひ、多くの方々の参加をよろしくお願いいたします。

11月29日30日、反基地国際シンポジウム（仮称）のための相談会

日時・8月31日 午前9じ30分～12じ

場所・岩国市民会館第2研修室

（AWCの夏期反戦合宿を8月30日31日と岩国で開催します。反基地国際シンポジウムのための相談会は、そのうちの31日午前9じ30分から開始させていただきます）

よびかけ・アジア共同行動日本連絡会議 14岩国・労働者反戦交流集会実行委員会